【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和5年3月29日(2023.3.29)

【国際公開番号】WO2022/230950
【出願番号】特願2022-576553(P2022-576553)
【国際特許分類】
H01M 50/198(2021.01)
H01M 50/184(2021.01)
H01M 50/105(2021.01)
H01M 50/121(2021.01)
H01M 50/193(2021.01)
H01M 50/197(2021.01)
H01M 50/342(2021.01)
H01G 11/78(2013.01)
H01G 11/14(2013.01)
H01M 50/129(2021.01)
【ＦＩ】
H01M 50/198
H01M 50/184 C
H01M 50/105
H01M 50/121
H01M 50/193
H01M 50/197
H01M 50/342101
H01G 11/78
H01G 11/14
H01M 50/129

【手続補正書】
【提出日】令和4年12月12日(2022.12.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
蓄電デバイスに用いられる接着性フィルムであって、
前記蓄電デバイスは、蓄電デバイス素子が、蓄電デバイス用外装材により形成された包装体中に収容された構造を備えており、
蓄電デバイス用外装材は、少なくとも、外側から、基材層、バリア層、及び熱融着性樹脂層をこの順に備える積層体から構成されており、
前記蓄電デバイス用外装材の前記熱融着性樹脂層同士を熱融着させることによって、前記蓄電デバイス素子が、前記包装体中に収容され、
前記接着性フィルムは、前記熱融着性樹脂層同士が熱融着される位置において、前記熱融着性樹脂層の間に介在するように用いられ、
前記接着性フィルムは、多層構造を有しており、
前記接着性フィルムは、融解ピーク温度が１０５℃以上１３５℃以下である樹脂層Ｌを少なくとも１層含んでいる、接着性フィルム。

【請求項２】
前記樹脂層Ｌの融解ピーク温度は、前記蓄電デバイス用外装材の前記熱融着性樹脂層の融解ピーク温度よりも、５℃以上低い値である、請求項１に記載の接着性フィルム。
【請求項３】
前記樹脂層Ｌは、ポリオレフィン骨格を含む、請求項１又は２に記載の接着性フィルム。
【請求項４】
前記樹脂層Ｌの厚みが、０．１μｍ以上である、請求項１又は２に記載の接着性フィルム。
【請求項５】
前記接着性フィルムの厚みが、５μｍ以上５００μｍ以下である、請求項１又は２に記載の接着性フィルム。
【請求項６】
蓄電デバイス素子が、蓄電デバイス用外装材により形成された包装体中に収容された構造を備える蓄電デバイスであって、
蓄電デバイス用外装材は、少なくとも、外側から、基材層、バリア層、及び熱融着性樹脂層をこの順に備える積層体から構成されており、
前記蓄電デバイス用外装材の前記熱融着性樹脂層同士を熱融着させることによって、前記蓄電デバイス素子が、前記包装体中に収容されており、
前記熱融着性樹脂層同士が熱融着される位置において、前記熱融着性樹脂層の間に介在するようにして、接着性フィルムが配置されており、
前記接着性フィルムは、多層構造を有しており、
前記接着性フィルムは、融解ピーク温度が１０５℃以上１３５℃以下である樹脂層Ｌを少なくとも１層含んでいる、蓄電デバイス。
【請求項７】
蓄電デバイス素子が、蓄電デバイス用外装材により形成された包装体中に収容された構造を備える蓄電デバイスであって、
蓄電デバイス用外装材は、少なくとも、外側から、基材層、バリア層、及び熱融着性樹脂層をこの順に備える積層体から構成されており、
前記蓄電デバイス用外装材の前記熱融着性樹脂層同士を熱融着させることによって、前記蓄電デバイス素子が、前記包装体中に収容されており、
前記熱融着性樹脂層同士が熱融着される位置において、前記熱融着性樹脂層の間に介在するようにして、接着性フィルムが配置されており、
前記接着性フィルムは、多層構造を有しており、
１００℃以上１２０℃以下において前記包装体が開封する、蓄電デバイス。
【請求項８】
蓄電デバイス素子が、蓄電デバイス用外装材により形成された包装体中に収容された構造を備える蓄電デバイスの製造方法であって、
蓄電デバイス用外装材は、少なくとも、外側から、基材層、バリア層、及び熱融着性樹脂層をこの順に備える積層体から構成されており、
前記蓄電デバイス用外装材の前記熱融着性樹脂層同士を熱融着させる位置において、前記熱融着性樹脂層の間に介在するようにして、接着性フィルムを配置して、前記接着性フィルムを介して前記熱融着性樹脂層同士を熱融着させることにより、前記蓄電デバイス素子を、前記包装体中に収容する収容工程を備えており、
前記接着性フィルムは、多層構造を有しており、
前記接着性フィルムは、融解ピーク温度が１０５℃以上１３５℃以下である樹脂層Ｌを少なくとも１層含んでいる、蓄電デバイスの製造方法。
【請求項９】
蓄電デバイスに用いるための蓄電デバイス用外装材と、請求項１～５のいずれか１項に記載の接着性フィルムとを含む、キットであって、

前記蓄電デバイスは、蓄電デバイス素子が、蓄電デバイス用外装材により形成された包装体中に収容された構造を備えており、
蓄電デバイス用外装材は、少なくとも、外側から、基材層、バリア層、及び熱融着性樹脂層をこの順に備える積層体から構成されており、
前記蓄電デバイス用外装材の前記熱融着性樹脂層同士を熱融着させることによって、前記蓄電デバイス素子が、前記包装体中に収容され、
用時に、前記熱融着性樹脂層同士が熱融着される位置において、前記熱融着性樹脂層の間に前記接着性フィルムを介在させるように用いられる、キット。